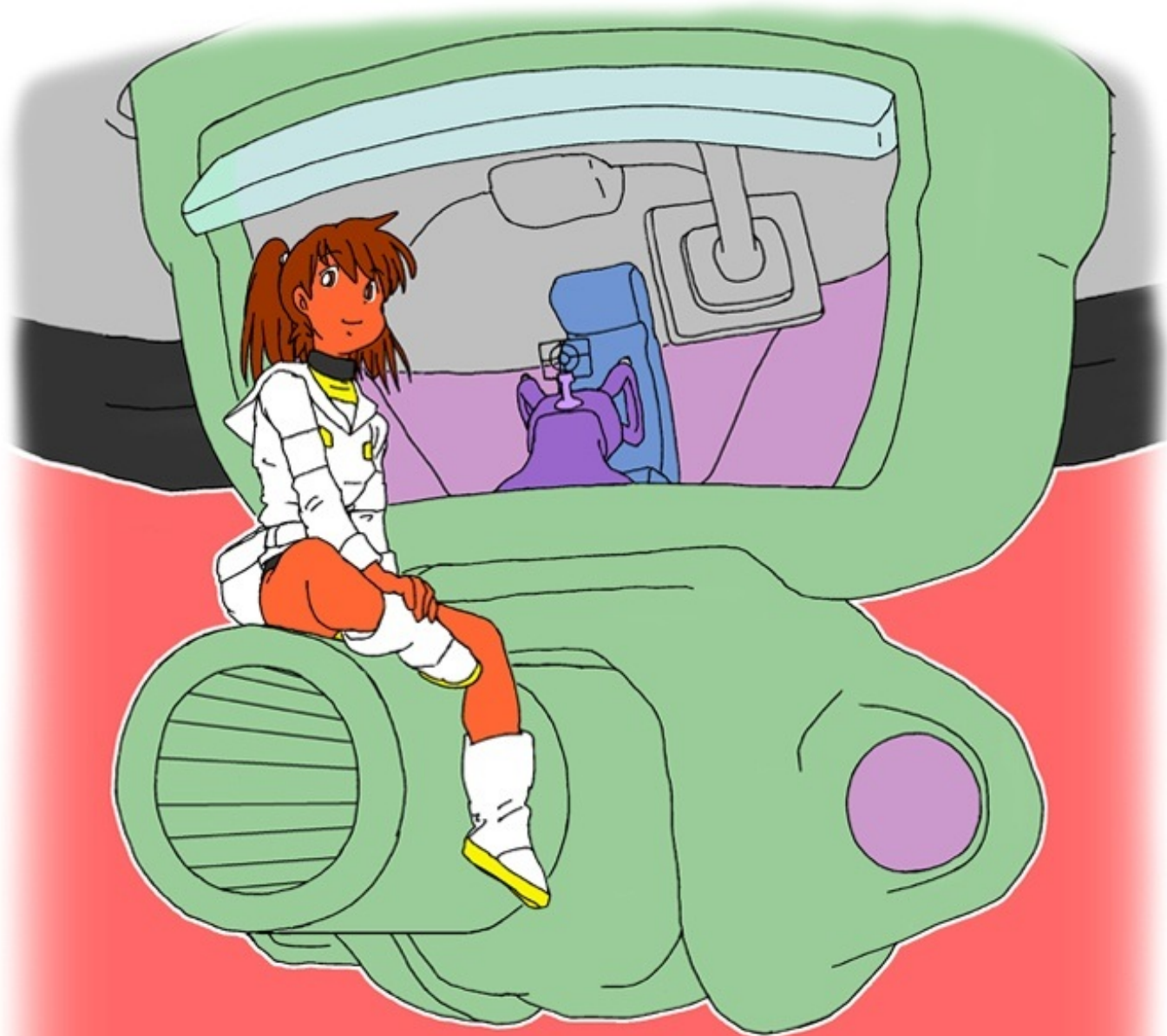


FLOATOPIA

フロートピア

ACT 3



作 SATOTOMO

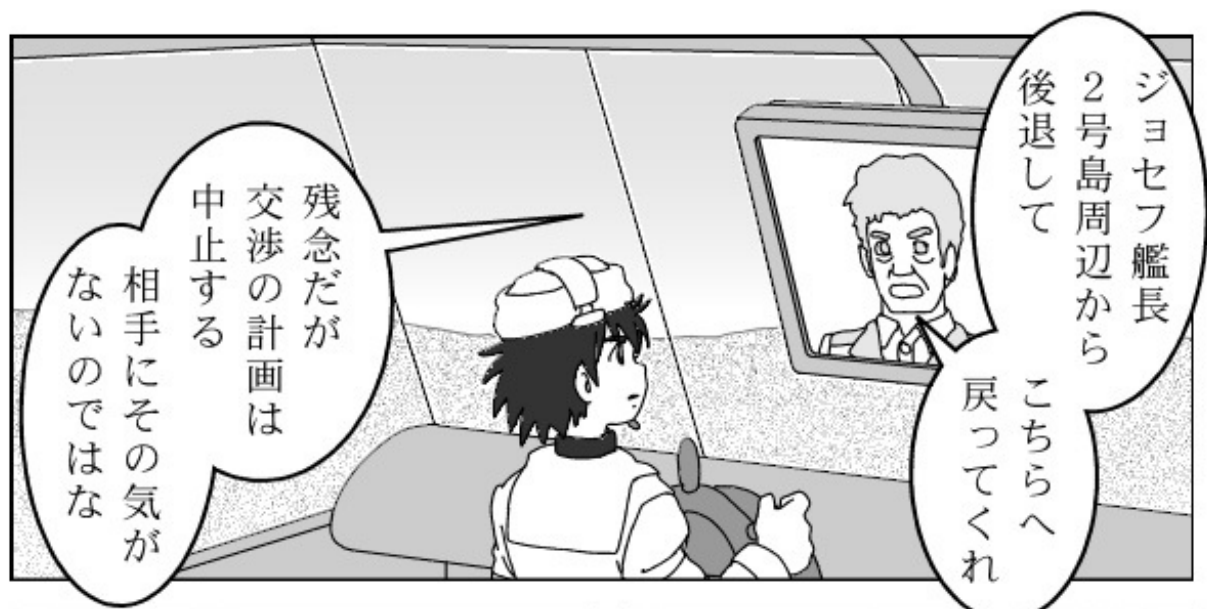
FLOATOPIA

フロートピア

ACT 3



作 SATOTOMO





装備の用意は
できていますので

直ちにミッションを
実行したいと思います

そうは言っても
本艦はこの空域から
退かなければならない

パメラ単独で
敵中に飛び込んでの
任務になる

おまけに
敵に知られない様
無線封鎖した上で

私が2号島に乗り移って
人質になっている人達を
パト艦3号に誘導します

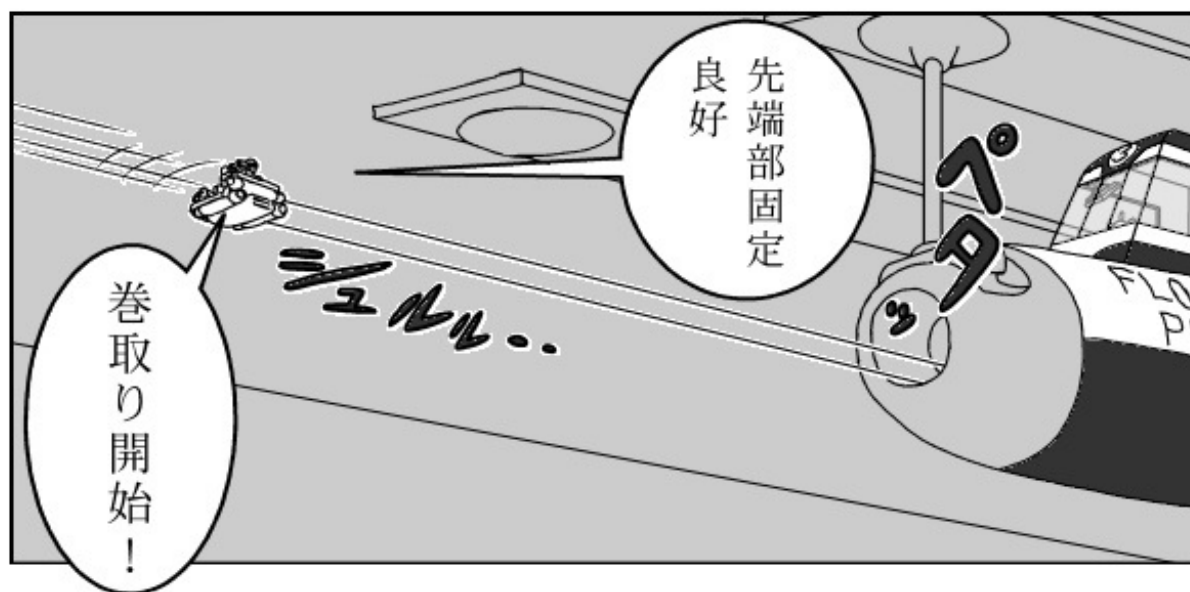
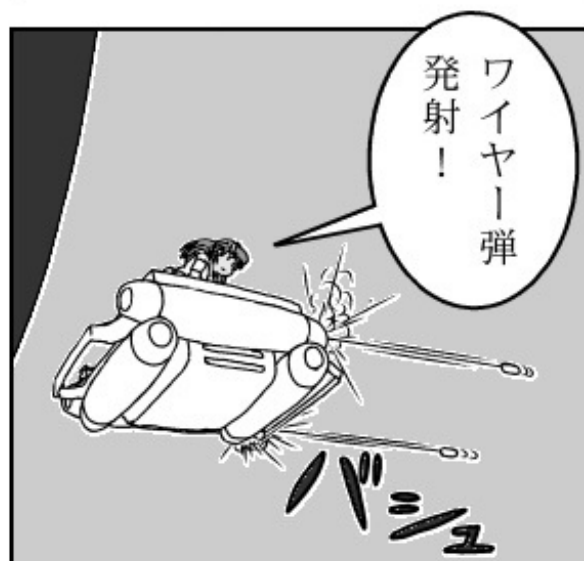
危険だが・
大丈夫か？

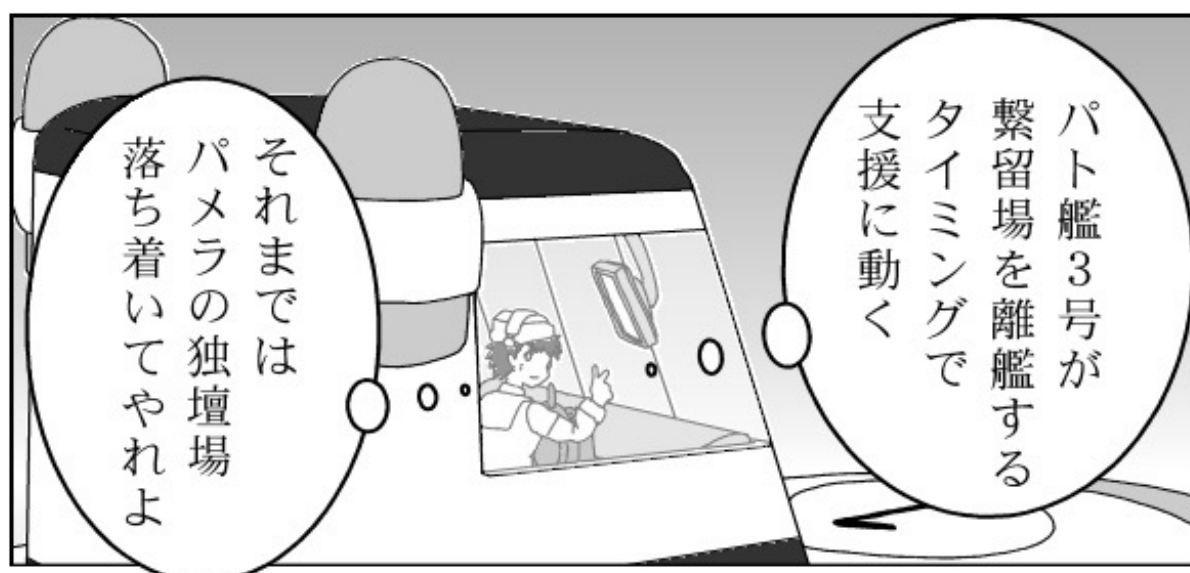
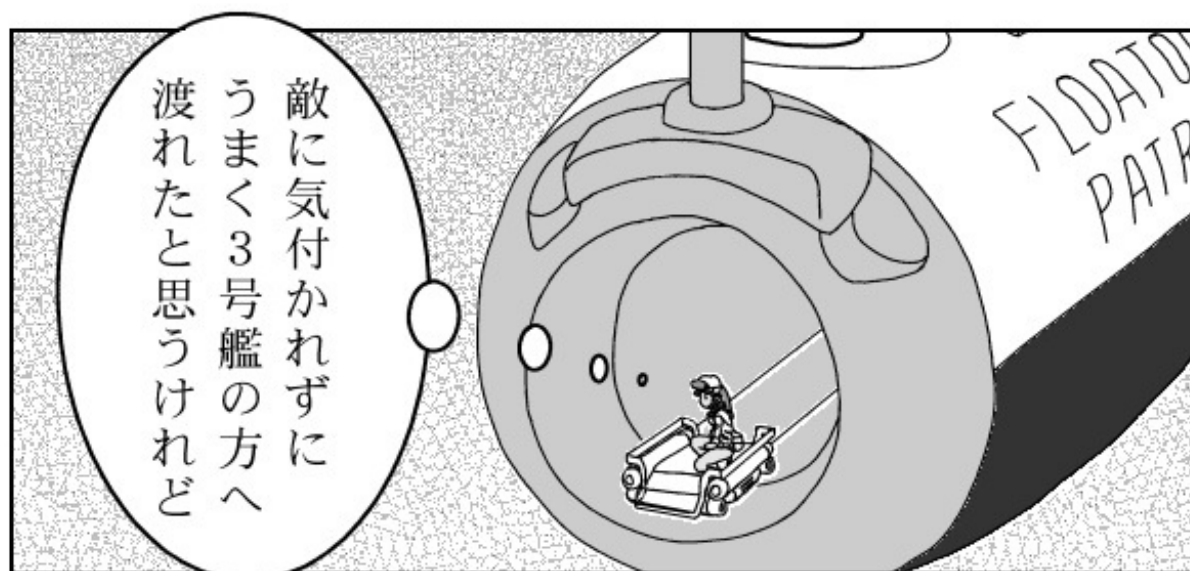
人質の命が
掛かっているのです

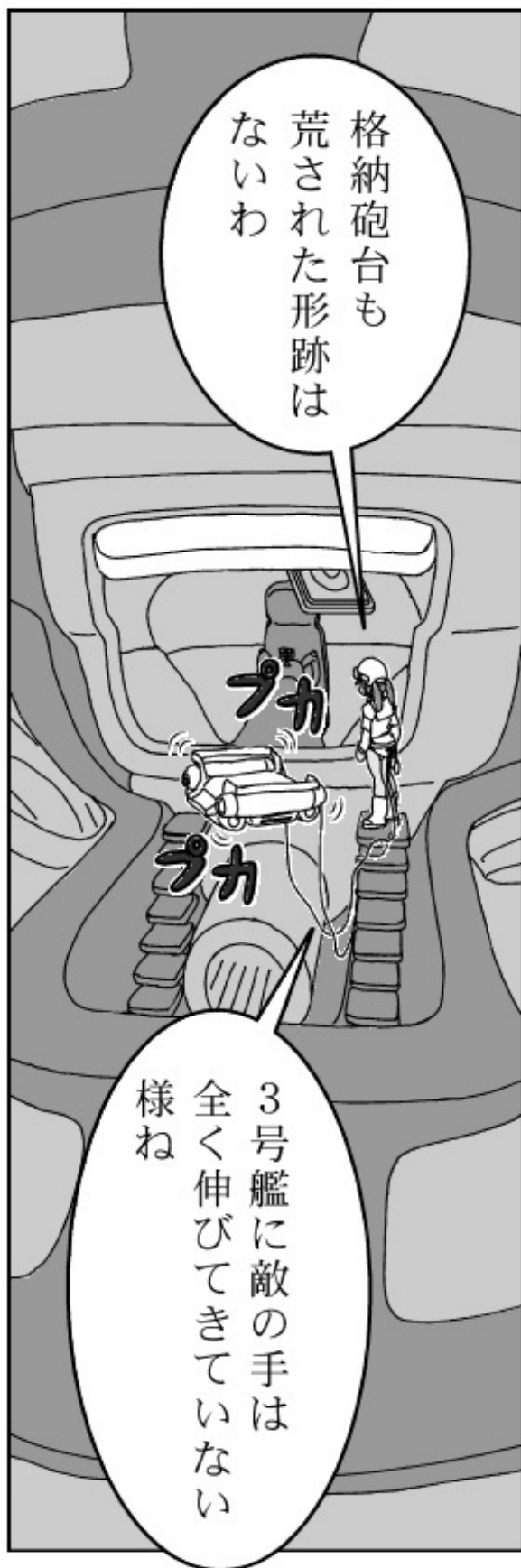
迷うことは
ありません

私がこの作戦を
言い出した訳ですし

大丈夫
やり遂げてみせます









タラップの操作盤も
あそこにあるのよね

さて、
ポートブロックにも
すんなり行かせて
くれるのかしら？
管制室には
デストリア兵が
かなり居る様
だったけど



完璧に
出し抜かないと
人質の救出は
難しそうね

ぐだぐだと
考えていても
仕方がない
とにかく
急ぎましょう



水先案内ロボを
ジャックされたことを
考えると・・・

既に奴等は
島内の監視装置で
私のことを
捕捉しているかも

ススス...





空中戦艦が
到着したみたい
ですね

おまえ、何を
しているんだ

援軍の受入準備で
みんな港のほうに
向かったぞ



総動員が
掛かっていること
知らないのか？

え？、じゃあ
管制室の配備は
どうするのですか

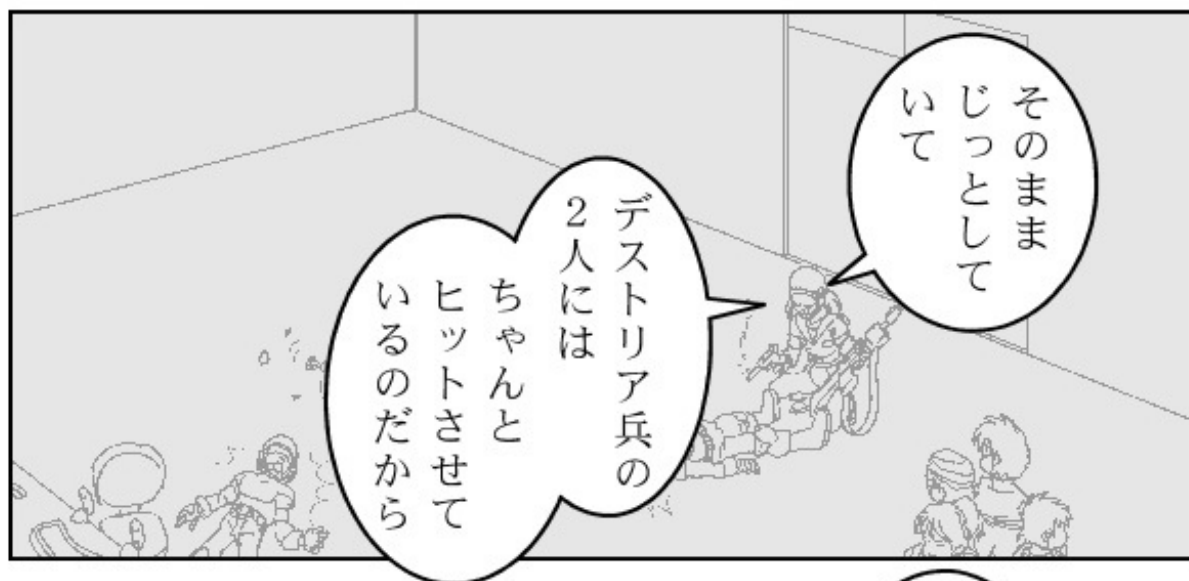
人質なんて
援軍が来た今は
大したことじゃ
ないだろう

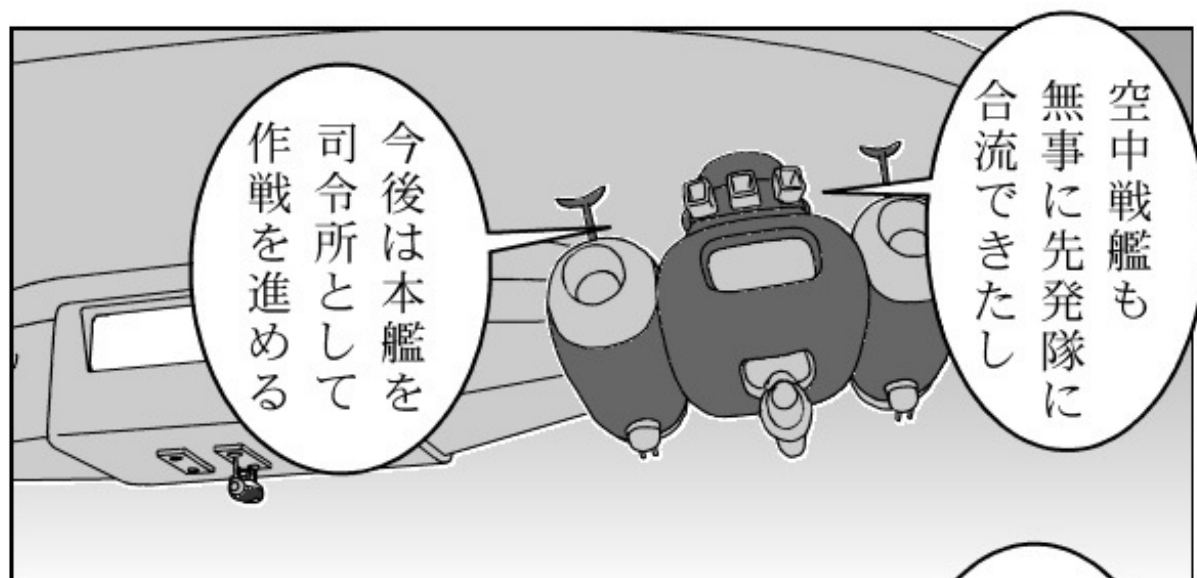
敵兵の配備が
手薄に感じられたのは
そういう訳だったのね

いいタイミングで
潜入できたわ

ほら、俺達も
急がないと
まずいぞ











よいではないか
この空中戦艦が
到着した今
人質は無用だ

人質どもを通して
我等の情報に漏洩
してしまいます



窓の外、
ポートブロック下部を
見て下さい

乗艦用のタラップが
降りているところを
みると

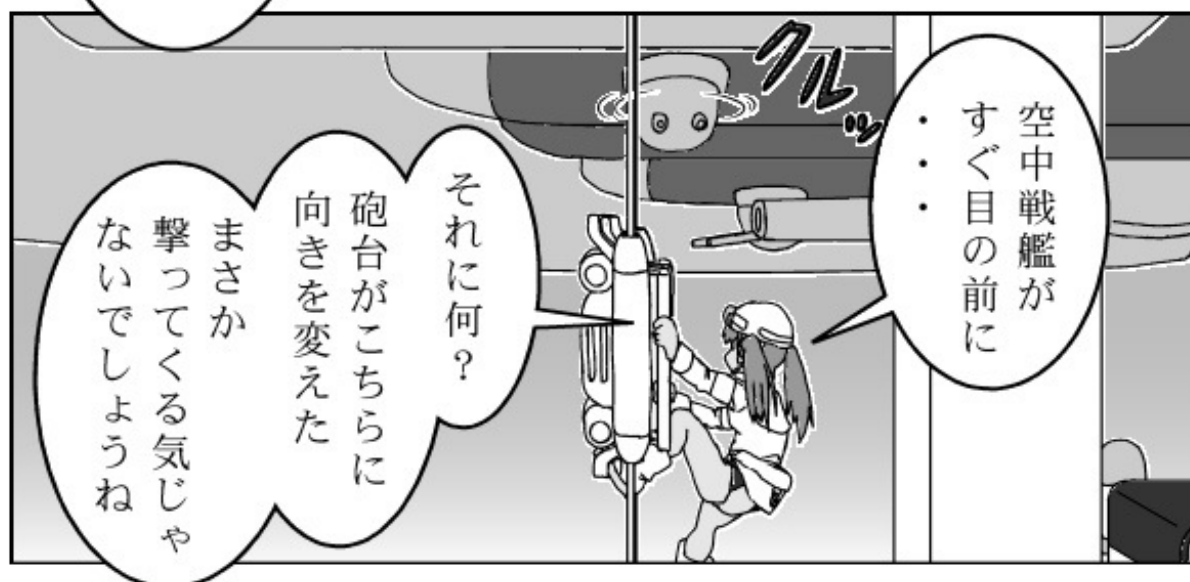
あれで逃げる
つもりの様です



そうだな
では、空中戦艦からの
最初の指令ということで
先発隊に連絡！

人質どもを
あの小型艦に
乗込ませる様に

反撃は
手を抜いて
行えと





ACT4へつづく・・・

FLOATOPIA ACT3

作者 SATOTOMO

E-mail BXJ05041@nifty.com

URL <http://satotomo.la.coocan.jp>

2013年12月14日

本書の一部または全部を無断で
複製することは禁止します。

FLOATOPIA ACT3

<http://p.booklog.jp/book/80359>

著者 : SATOTOMO

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/satotomoyuki/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/80359>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/80359>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ